

## 実習生受入れのご検討に際して

実習のお受入れに関しましてご検討いただきありがとうございます。同封の『生産実習 概要説明書』に記載する授業のねらいと下記内容をご勘案のうえ、生産実習 SYSTEM への Web 登録にて実習生受入れの可否および諸条件をご回答いただきたくお願いいたします。なお、生産実習における事故等への補償に関しては別紙「生産実習に係る事故等の補償形態について（様式 EN02）」、対応に関しては同封「生産実習 概要説明書」をご確認願います。

### 1. 実習生受入れをお願いする学科・学年・期間

学 科 : 環境安全工学科

学 年 : 3年生および未履修の4年生

期 間 : 7月27日(月)~9月11日(金)のうち実働日数10日間(70時間)

※実働日数は、実習期間のうち休日を除いた勤務日数を指し、10日間のお受入れが困難な場合、5日間でのお受入れをご検討願います。

(本学では、学習効果向上のため長期実習を推奨し、長期希望学生を優先的に派遣いたします。)

※実働時間は、勤務時間から休憩時間(1時間)を除いた実労働時間を指し、本学科では計70時間(実働10日間)以上を単位認定条件としています。

※実働日数が10日間に僅かに満たない場合は、実働時間が計70時間以上となるよう勤務時間や実習内容をご調整願います。

※上記の条件を基本として、派遣決定後に個別にご調整いただくこと、実習生ごとに異なる実働日数・時間等でご対応いただくことも可能です。

※実習形態は「対面」「オンライン」「ハイブリッド」「その他(要相談)」から予定している形態の選択をお願いします。補足等ございましたら備考欄に記入いただけますと幸いです。

勤務時間： 貴機関の規定および実習内容・状況等に準じます。

### 2. 実習内容について

デスクワークや現場補助等の実習内容に制約はなく、機関内研修(OJT)と同様に「実践」を重視してご検討願います。ただし、大きな危険を伴う作業はなるべく避けていただくよう、お願いいたします。なお、実習内容の一例を同封『生産実習 概要説明書(P.6)』、生産実習ドキュメントを本学部ホームページ(<http://www.cit.nihon-u.ac.jp/>)に掲載しておりますので、ご参照いただければ幸いです。実習生受入れ、実習内容および諸手続きに関してご不明な点等がございましたら、下記の連絡先・担当者までお問い合わせ願います。

連絡先 : 日本大学生産工学部環境安全工学科 高橋 栄一・齋藤 郁

eメール cit.sjshknky@nihon-u.ac.jp

TEL/FAX 047-474-2361/FAX 047-474-9759 (環境安全工学科事務室：二重作)

## 『生産実習』における実習の条件・内容等について

項目	内容
対象学科	環境安全工学科
科目名	生産実習(3年次必修科目)
対象学年	3年生および未履修の4年生(原則として次年度卒業見込みのもの)
学習到達目標	<p>① 実習経験を通して社会人の立場と技術者の役割を認識し,幅広い知識や技能を実践しながら技術者としての倫理観を醸成することができる。</p> <p>② 自身の傾向や社会のニーズを捉えて適切な目標を設定し,日々の経験に挑戦と省察を重ねて技術者としての資質を自ら高めることができる。</p>
単位認定基準	<p>7月27日(月)～9月11日(金)のうち、実働時間の合計が<b>70時間</b>を満たす実習を採点の対象とし,以下の成果物に対する各採点結果に基づき成績を評価する。</p> <p>生産実習 NOTES(50%), 所見票(20%), 実習成果報告書・概要(20%), 実習成果発表(10%)</p>
実習期間および実働日数・時間、	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 7月27日(月)～9月11日(金)のうち実働日数10日間(70時間)</li> <li>● 10日間のお受入れが困難な場合,5日間(35時間)でのお受入れをご検討願います。</li> <li>● 新型コロナウイルス感染症の状況に応じて,オンラインでの実習を実施していただくことも可能です。つきましては,<b>生産実習 SYSTEM「受入れ条件」に「対面」、「オンライン」、「ハイブリッド」、「その他(要相談)」の選択</b>をお願いいたします。</li> <li>● 受入条件は最大5パターンご回答可能です。ご回答に際しては,次ページの「異なる実働日数の実習生の受入れについての回答例」もご参照ください。実習期間は,「夏季休暇中」と「夏季休暇中以外」に分けていただきますよう,お願いいたします。</li> </ul> <p>※原則として,授業期間外の夏季休暇中(7月27日～9月11日)を実習期間とします。  ※実働日数は,実習期間のうち休日を除いた勤務日数を指します。  ※単独の実習先で実働時間が<b>70時間</b>に満たない場合,教員が志望理由と実習内容を確認のうえ,実習生は実働時間が計<b>70時間</b>以上となるよう複数の実習先を組み合わせる場合がございます。  ※実習場所での新型コロナウイルス感染症対策(実習生に求める対策,受入場所で実施される対策,等)がございましたら,「備考欄」にご入力をお願いいたします。</p>
主な実習・就職先 ※日本標準産業分類に基づく	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学術研究,専門・技術サービス業(工学研究所,設計・測量業,土木建築サービス業,機械設計業,非破壊検査業,環境計量証明業など)</li> <li>● 公務(国土交通省,都道府県,区市町村,など)</li> <li>● 製造業(化学工業,石油製品・石炭製品・プラスチック製品・ゴム製品・窯業・土石製品・金属製品製造業,鉄金属・非鉄金属製造業,金属製品製造業,はん用機械器具・生産用機械器具・業務用機械器具・電気機械器具・情報通信機械器具・輸送用機械器具等製造業,など)</li> <li>● 建設業(総合工事業,設備工事業)</li> <li>● 電気・ガス・熱供給・水道業</li> <li>● 不動産業,物品賃貸業(不動産管理業)</li> <li>● 情報通信業(情報サービス業)</li> <li>● 教育,学習支援業(博物館,社会教育施設など)</li> </ul>
学科および学生が希望する実習内容	<p>本学科では「環境共生」や「エネルギー」をキーワードとして,エンジニア育成を目指しています。実習では下記のような内容を希望いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 研究・開発</li> <li>● 調査・計画(自然環境・生活環境等モニタリング,環境アセスメント,環境計画・都市計画,インフラ・公共施設等の維持管理・保全計画,など)</li> <li>● 設計(設計製図(機械・製品・インフラ等),積算,BIM/CIM,など)</li> <li>● 分析・校正(環境分析(大気・水質・土壌等),計測器校正,など)</li> <li>● 施工(施工管理,現場見学など)</li> <li>● 製造(プラント,工場など)</li> <li>● 生産・品質管理(製品検査,分析,排水や排気ガスの分析など)</li> <li>● 営業・サービス・その他</li> </ul>

## 異なる実働日数の実習生の受入についての回答例

【重複する期間で異なる実働日数の実習生を同時に受け入れる場合】

回答例①

受入条件※1	同時受入※2	実習期間	実働日数	受入可能人数
<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input checked="" type="checkbox"/> 可	8/19~8/30	10日間	3
<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input checked="" type="checkbox"/> 可	8/19~8/23	5日間	3
受入れ条件※2の場合に、同時に受入れ可能な合計人数→				3

受入結果のパターン(受入人数最大の場合)

実習期間	実働人数	受入結果人数のパターン			
		パターン①	パターン②	パターン③	パターン④
8/18~8/29	10日間	3名	2名	1名	0名
8/18~8/22	5日間	0名	1名	2名	3名

※重複している期間は最大3名実習生を受け入れている状態になります。

回答例②

受入条件※1	同時受入※2	実習期間	実働日数	受入可能人数
<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input checked="" type="checkbox"/> 可	8/18~8/29	10日間	3
<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input checked="" type="checkbox"/> 可	8/18~8/22	5日間	3
<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input checked="" type="checkbox"/> 可	8/25~8/29	5日間	3
受入れ条件※2の場合に、同時に受入れ可能な合計人数→				3

受入結果のパターン(受入人数最大の場合)

実習期間	実働人数	受入結果人数のパターン			
		パターン①	パターン②	パターン③	パターン④
8/18~8/29	10日間	3名	2名	1名	0名
8/18~8/22	5日間	0名	1名	2名	3名
8/25~8/29	5日間	0名	1名	2名	3名

【重複する期間で異なる実働日数の実習生を同時に受け入れない場合】

回答例

受入条件※1	同時受入※2	実習期間	実働日数	受入可能人数
<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 可	8/18~8/29	10日間	3
<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 可	8/18~8/22	5日間	3
受入れ条件※2の場合に、同時に受入れ可能な合計人数→				3

受入結果のパターン(受入人数最大の場合)

実習期間	実働日数	受入結果人数のパターン					
		パターン①	パターン②	パターン③	パターン④	パターン⑤	パターン⑥
8/18~8/29	10日間	3名	2名	1名	0名	0名	0名
8/18~8/22	5日間	0名	0名	0名	3名	2名	1名

※重複している期間に、異なる実働日数の学生はいない状態になります。